

令和三年五月三十日 佐賀偉光会館改築に向けての信者勉強会

神 示

この地に神神魂の力が宿りて 早三十年

この地の姿は 実体大きく引き上げられ

仕合せな人生を歩む者が増えている

—— 眞実の神を知り得た喜び

「希望の光」みちを通して手に入る まこと人の道人間 人生——

こたびの「館」改築をもって

信者の心は 神神魂に心重ねる思いを 深く 強くする

心に希望 生きる喜びを 体感する信者が増えてゆく

信者に申す

歳月が流れ 「館」でいに出入りを重ね 育み 覚えた愛着は

消えることなく 新たな「館」に受け継がれてゆく

ますます「教え」が心に染み入り

「眞理」に気づきを得て 悟り心こころを深めてゆく

新たな救世の館 その環境の深まり 広がり

希望を持って待つべし

「館」改築をもって

この地はますます 神の手中 守られ 救われ

喜びを手にし

生きがい多い人生を 歩む信者が増えてゆく